



せっぺ 翔べ



日吉学園HP



★新日吉学園ブログ

「ふるさとたっぷり」の学び

日吉学園 校長 松尾 明

1 「せっぺとべ」の教育的効果について

6月2日、「せっぺとべ」が行われました。私は、当日までの数日間をかけて「お田植踊り」練習激励のために、全ての地区を回らせていただきました。そこには「地域の伝統文化の担い手をつくる」「伝統文化の伝承を通して子供たちを育む」という思いのもと、保護者や地域の方々が熱心に指導をされていました。

私には「これは発達心理学的な視点でも子供たちいいはずだ。」という確信がありましたが、その裏付けとなるようなものに出逢っていませんでした。そんな中で、オーストリアの心理学者、アルフレッド・アドラーのある著書に、その答えを見付けました。

その本に「親が子に対してすべき最初の仕事」が紹介されています。それは「信頼できる他者がいるという経験を子供に与えること」なのだそうです。親は子供の「他者に関心をもつ能力」を育てていく必要があるそうです。

私は、これを読んで、「日吉町では、この役割を地域の人たちも担っている！」と思いました。つまりこうです。地域の人たちは「お田植踊り」を教え伝える中で、子供たちとの信頼関係を築いていきます。これは、子供たちの中に「世の中には信頼できる大人がいる」という安心感を育んでいきます。この「人への信頼感や安心感」は、子供たちが人とよりよい関係を築いていくための基盤になります。

これは「せっぺとべ」最大の教育的効果なのではないか、日吉町の子どもたちは幸せ者だ、と心から思いました。

2 「ふるさと学習」について

「せっぺとべ」が終わった週、6月8日の土曜授業の日に、3年生から9年生までの全児童生徒が旧小学校（現：地区公民館）へ登校し、地域の方々との交流活動を行う「ふるさと学習」を行いました。

これは、子供たちがふるさとの良さ（人、伝統文化、歴史等）に触れることを通して、将来、地域に貢献しようとする態度を育むことを狙いとしています。

具体的な活動としては、地域の方々の協力のもと、グランドゴルフ、昔遊び、地域の歴史についての講話、ワークショップ（テーマ「大人になっても住みたいまち、日置とは・・・」）等が行われました。御協力をいただきました地域の方々に、この場を借りて、深く御礼を申し上げます。

さて、よく学校の役割は、その地域（土壌）にあった花を咲かせることである、と言われます。日吉学園では9年間を通して、伝統・文化・歴史・

人が豊かなこの地域（＝肥沃な土壌）で、ふるさとを誇りに思える子供たちを育みます。時間はかかるかもしれませんが、ふるさとが、やがて子供たちの心の拠り所や生きる希望となった時に、「花が咲いた」ということになるでしょう。

そこを目指して、日吉学園は「ふるさとたっぷり」の学びを展開していきますので、今後とも御理解と御協力をお願いします。



吉利地区



日置地区



住吉地区



日新地区

「子供たちの男女共同参画 学びの広場」

7月4日(木)、鹿児島県男女共同参画センターから講師をお招きし、7～9年生が男女共同参画の学びを通して、自己肯定感や自己尊重感を高めることを目的として、良好な人間づくりのためのワークショップを行いました。

コーディネーターを務めてくださった高橋 恵先生は、ワークショップの中で「性別に関わらず、一人ひとりがちがっている」という多様性のことや、性別に関わらず個性や能力があることなどを、分かりやすく講話してくださいました。

〈感想〉

めぐさん(高橋 恵先生)が「発表してくれる人」と聞いた時に、自分の中で気持ちをとどめている自分に気づき、無意識に、間違ったらどうしよう…笑われないかな…と自分を制限していることに気づきました。

私は自分の気持ちを相手に伝えることや表に出すことが苦手で、周りに行動を合わせて、自分の気持ちを隠している時がありました。その時は、とても辛かったです。

今日初めて「同調圧力」という言葉を知って、悩んでいた時の自分の気持ちを少し理解することができました。そして、You メッセージとI メッセージという言葉も初めて知りました。グループ活動で自分は You メッセージを使っていたと振り返ることができ、I メッセージの使い方も学びました。グループ活動など相手と意見が対立した時に使っていこうと決めました。

これまでの自分を振り返ることができ、人との付き合い方についても学べた、楽しい2時間でした。(9年生)



心を合わせた歌声に感動 ～7月13日(土)校内合唱コンクール～

恒例の校内合唱コンクールは、今年も日吉町老人福祉センターにおいて、1学期末PTAの授業参観も兼ねて行われ、多くの保護者から児童・生徒たちの歌声に大きな拍手を送られました。

今年もエキシビションの6年生の素直でまっすぐな歌声からはじまった、日吉学園の合唱コンクール。審査をされた松陽高校の今村先生から、学年を追うごとにレベルが向上し、合唱を通してクラスのまとまりを感じることもできたと、多くのお褒めの言葉をいただきました。コンクールの結果と審査員コメントの一部を紹介します。

金賞 9年生「大人の歌声が響いて素敵です。女声も男声も無理のない発声で美しい。」

銀賞 8年生「清潔感のある歌声でとても素敵です。響きがきれいでした。」

銅賞 7年生「力強さのある歌声が聴くことができた。勢いのある歌声が良かったです。」

最優秀 指揮者賞 8年 鳥越 千代莉

最優秀 伴奏者賞 9年 松尾 咲良 8年 池水 日菜梨



銀賞の8年生は学校を代表し、来年の県の合唱コンクール「春の祭典」に挑戦します。頑張ってください！

入賞おめでとうございます

【県図画作品コンクール日置市審査会】

<特選>	4年	川波 想士	7年	野元 芽依
	8年	小松 友結		服部 萌々香
	9年	内匠屋 愛理		上村 沙耶
<入選>	1年	尾堂 海夢	2年	室屋 颯汰
	3年	上中別府ゆのは		野田 海智
	5年	小松 翔愛		
	6年	古市 結暖		松原 小夏
	9年	倉留 彩綾		森田 夏帆

7・8月の主な行事予定

7月	19日(金)	終業式
	23日(火)	吹奏楽部 夏の祭典
	24日(水)	県大会 剣道女子個人の部
	26日(金)	県吹奏楽コンクール
8月	1日(木)	出校日
	7日(水)	日置市子ども議会
	18日(日)	PTA 環境美化作業
	21日(水)	出校日
	31日(日)	夏休み最終日

【お知らせ】～夏季休業中の学校閉庁について～

日置市教育委員会では、学校職員が長期休業期間に計画的に休暇を取得しやすい環境をつくることで、健康の保持・増進を図るとともに、意欲をもって児童生徒の教育活動に従事できるようにすることを目的として、今年度も、8月13～15日を学校閉庁日及び部活動の休養日等を設定します。なお、学校閉庁期間中は、学校には職員が不在となります。

緊急の連絡等については、市教育委員会学校教育課〔Tel:099-248-9431〕でも対応いたします。）

皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

こうだったらいいな ひおき市

～日置市の明日をつくる私たちにできること～

日置市の未来を担う子どもたちに、模擬議会の体験を通じて、議会や市政に関心をもたせ、主権者意識を高めたり、郷土を愛する心を育んだりするとともに、子どもたちの意見を今後のまちづくりの参考にしていく目的で行われる、毎年恒例の「日置市子ども議会」。

日置市内の小中・義務教育学校の代表からなる子ども議員 21 人の中から、名誉ある提案者に、6 年生の安山友翔さんと 9 年生の黒岩唯花さんが見事選出され、来る 8 月 7 日（水）に市役所 3 階の日置市議会議場にて、提言を行います。

安山さんは「子どもからお年寄りまで、人が集まり魅力ある町づくり」、黒岩さんは「国際交流から世界へ目を向けるグローバルな日置市へ」をテーマにした発表をします。

大舞台に立つ日吉学園代表の 2 人を、みんなで応援しましょう！！



いのちふれあい学習～8年生～

日吉支所の保健師の皆様を講師にお招きし、「いのちふれあい学習」を実施しました。

学習の中では、赤ちゃんが生まれるまで、生まれた赤ちゃんと周囲の人との関わり、妊婦体験、そして命のつながりについて考えることができました。

これらの学習をとおして、自分という命の尊さと同時に、他者もかけがえのない存在であることを考えることができました。

自分の命の大切さを改めて見つめなおし、実感することができたことと思います。